

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2017年12月1日

日蓮正宗 年間方針

## 折伏育成の年

法遍寺・天晴寺支部年間方針

## 青年部育成 全員で折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏完遂

## 罪障消滅

② 御講参詣で人材育成

## 幸福境涯

③ 講中みんなで支部総登山

## 福德倍増

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)



2017年10月30日 法遍寺の御会式、11月28日お寺の椿の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

### ① 講中の皆様へ

日蓮大聖人は「生死の大海を渡らんことは、妙法蓮華經の船にあらずんばかなふべからず」(椎地四郎殿御書1555頁)と仰せです。生死と書いて「しょうじ」と訓みます。生死とは、悪業の因縁によって生き死にを三界六道の世界に繰り返す常なる苦惱すること、つまり今世を含む順次生の苦しみや煩悩のことです。大聖人は生死の苦海を海に譬えられ、この大海を悠々としかも無事に渡りきるには、南無妙法蓮華經の力用をそなえた大聖人の仏法という大船に乗るしかないと仰せです。我意我見を捨て、仏心を感じとっていける信心の素地を作ることが、この「妙法蓮華經の船」に乗る切符を入手することになります。常に率直な気持ちで勤行・唱題に勤め、難破している人々を救って行きましょう。

### ② 創価学会の皆様へ

日蓮大聖人の仏法を正しく信仰するということは、大聖人以来の血脈に随順して、根本帰依の対象である「本門戒壇の大本尊」を信受することであり、その信仰にこそ真実の功德と成仏があります。現在の創価学会員は、総本山大石寺に参詣することも、戒壇の大御本尊を拝むこともできません。それは創価学会が許されざる謗法集団と断定されたからにほかなりません。「宗門が学会員の参詣を拒否したから」「大石寺が謗法の山となったから」ではないのです。このようになされた洗脳も含め、創価学会がなしていることが仏法上の大罪であることを知っていただきたいのです。大罪には必ず悲しい結果があります。

### ③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

生き仏や生き神と称する人は、いったいいかなる因行を修行して神や仏になったのでしょうか。因がなく、ただ果のみが突然あらわれる奇跡などというものには存在しません。因行が説明できない神や仏ならば信すべきではないのです。少しばかり人間ばなれした能力があったとしても、それは人々を救済するのではなく、教祖と称する者の五欲を満たす対象としてあやつられていただけなのです。日蓮大聖人は、いま末法という五濁の時代に法華經の行者として現実に出現され、法華經に説かれた予証をすべて体現されたのです。日蓮大聖人の仏法を信仰することは、あなたを救済し、あなたの人生を変えていくのです。